

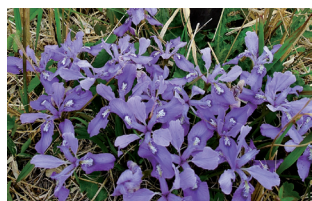
住みよいまちづくりを目指して寄付

おおすみ半島スマートエネルギー株式会社（村上博紀代表取締役）が企業版ふるさと納税として100万円を寄付しました。同社は、鹿児島県肝付町で事業を展開する地域電力会社。寄付金は、同社の意向から住みよいまちづくりに関する事業に充てられます。



自生地でエヒメアヤメまつりを開催

3月28日から4月12日まで、国指定の天然記念物、エヒメアヤメ南限自生地（南西方）でエヒメアヤメまつり（エヒメアヤメを守り育てる会主催）が開催されました。自生地には県内外から多くの見物客が訪れ、青紫色に咲く花を写真に収めるなどして楽しみました。



中村圭之介さんと大出水清美さん 4代目観光アンバサダーに任命

3月21日、牧場演芸場で小林観光アンバサダーの選任式が行われました。任命されたのは、中村圭之介さんと大出水清美さんの2人。3代目から続けて任命された中村さんは「小林の美味しい物、豊かな自然、観光地はもちろん、小林で暮らす人の魅力を市内外に伝え、『小林って面白そう』と思ってもらえるようPRしたい」と意気込みました。



新たに任命された大出水さんは「アンバサダーに任命された初めての主婦層として、新しい目線で小林市の魅力を広くアピールしていきたい」と話しました

水利の乏しい地域でも大活躍 3トンの水を積む新消防車を配備

3月17日、西諸広域行政事務組合中央消防署の消防ポンプ自動車（FP）が更新されました。今回配備された車両は、3トンの水を積載できる大型の水槽を備えているのが大きな特徴。水利に乏しい山間地域が多い西諸管内においても火災発生時の迅速な初期消火が可能となるなど、地域の安心・安全を守る力がより一層高まることが期待されます。



同日の交付式で藤嶋健中央消防署長は「今後も多様化する災害に備え、職員一丸となって体制の強化と技術の向上に努めたい」と決意を語りました

精密に金属をつなぐ高度な技術 三原さんが県溶接競技会で優秀賞

11月にあった県溶接技術競技会で優秀賞を獲得した三原省一郎さん（有限会社山下鉄工所）が、3月19日に市長を表敬訪問しました。大会は県内産業を支える溶接技術の向上を目的に開催され、三原さんは昨年7月の小林地区大会を勝ち抜き県大会に出場。半自動溶接の部で金属板を精密につなぎ合わせる技術が高く評価されました。



三原さん⑧は「鉄工所歴は約35年になり、こういった大会にも20年ほど出ているが入賞は初めて。技術が認められうれしい」と話していました



第21回小林市総合畜産共進会 和牛・乳牛95頭、枝肉46頭が 出場・出品

4月4日、市総合畜産共進会が小林地域家畜市場で開催されました。肉用種牛の部4部門に72頭、乳用種牛の部5部門に23頭が出場し、肉用種牛の部は高等登録群の里岡広章さん、乳用種牛の部は経産牛2類の温水聖さんがグランドチャンピオンを獲得。4月1日に開催された肉牛枝肉の部では、46頭の出場の中から有限会社馬場牧場がグランドチャンピオンを獲得しました。

Photo1 肉用種牛の部グランドチャンピオン里岡広章さん
2 乳用種牛の部の各部門で優等1席を獲得した受賞者ら
3 肉牛枝肉の部グランドチャンピオン有限会社馬場牧場の枝肉

結果(順位順・敬称略)

■肉用種牛の部

- ▼育成1類 = 下村豊、森田直也、木場雄一
- ▼育成2類 = 迫間紀美弘、川野直人(前駆賞)、佐土原望
- ▼雌子牛 = 中島ちどり、立山健二、小畠チズ、立山健二、立山健二
- ▼高等登録群(2頭セット) = 里岡広章、(株)濱崎畜産、永久井博昭・永久井雅寛

■乳用種の部(各首席)

- ▼育成1類 = 温水聖
- ▼育成2類 = 永田一喜(JC)
- ▼育成3類 = 高佐政昭
- ▼経産牛1類 = 温水聖
- ▼経産牛2類 = 温水聖(GC)

■肉牛枝肉の部

- (有)馬場牧場、大山和夫、田中としはる、くらのたけし、きょうりき利治、倉蘭忠、牛商丑力(株)、にしのよしと
- 西立野義人(脂質賞)

輝けフロンティアのじりが10周年 ゆ〜ぱるのじりに馬オブジェ寄贈

3月27日、平成27年から野尻町地区でのまちづくり活動を続けている、輝けフロンティアのじり(木下恒吉会長)が結成10周年を記念し、道の駅ゆ〜ぱるのじりに馬型のベンチを寄贈しました。また、同団体は大塚原の中央広場にシダレザクラを植樹したほか、紙屋小学校にヒメシャラを植栽するなど、計3つの記念事業を実施しました。



贈呈式で木下会長は「ゆ〜ぱるのじりが野尻の観光拠点として今後ますます発展し、野尻がもっとウマ(馬)くいくように願っている」と話しました

グリーンシティこばやし(株)が寄付 事業収益を市民サービス向上に活用

グリーンシティこばやし株式会社(前田喜輝代表取締役)が、小林市へ1,000万円を寄付しました。同社による寄付は昨年に続き4回目。市も出資する新電力会社として得られた収益を地域へ還元し、市民サービスの向上に活用しています。寄付金は、同社の意向から子どもたちの学びの充実に図る学校教育に関する事業に充てられます。



3月26日には贈呈式が行われ、前田代表から市長に目録が渡されました。前田代表は「今後も市へ還元できるように努めていきたい」と話しました

桜と笑顔あふれる春のひととき 市内3カ所で桜まつりにぎわう

まきばの桜まつり 2026

3月21日、「まきばの桜まつり 2026」が開催されました。さまざまなステージイベント、物産店が並ぶさくら市、花の苗の配布などの催しに約2,000人が来場。夜には、恒例の夜桜花火も行われ、夜空を彩る花火に会場からは歓声と拍手が送られました。

ケロケロ共和国 in のじりこびあ 桜まつり

3月29日、「ケロケロ共和国 in のじりこびあ 桜まつり」が開催されました。今年から始まったケロリンピック大会では「だるまさんがころんだ」「じゃんけん列車」などが行われ、多くの子どもたちが参加。参加者は、会場を駆け回り、笑顔で楽しんでいました。

さくらフェスタ 2026

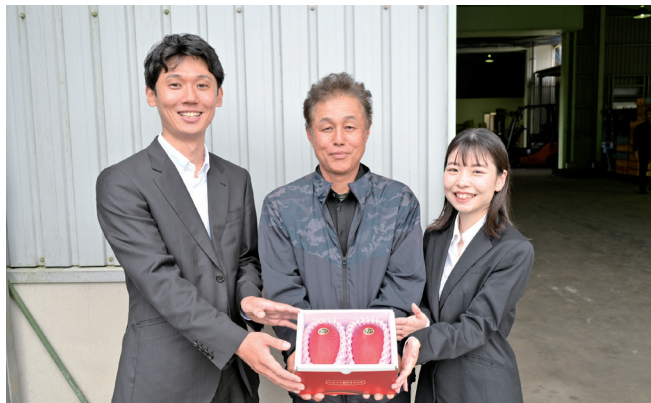
4月5日、すきむらんどで「さくらフェスタ 2026」が開催されました。まつりは、手ぶらBBQやフードトラック、子ども縁日などの催しを実施。来場者は、桜に囲まれた広場で食を満喫しながら音楽に触れ、春のひとときを楽しんでいました。



Photo 1・2 ステージイベントやさくら市でにぎわうまきばの桜まつり 3・4 せんぐまきやケロリンピックで笑顔溢れるのじりこびあの桜まつり 5・6 桜の下、音楽とあそびをテーマに開催されたすきむらんどさくらフェスタ

県内初！認定農業研修機関による マンゴー農家研修で担い手を育成

認定農業研修機関のきりしま農業推進機構が県内初となるマンゴー農家での研修の受け入れを開始しました。これは、マンゴー農家の担い手確保を目的に同機構とJAみやざきこばやしマンゴー部会（松田泰一部会長）が昨年度から準備を進めてきたもの。4月13日には入構式が行われ、部会員らが出席し、新たな仲間の門出を祝いました。



研修生の津嶋智将さん（写真㊦）と津嶋千鶴さん（㊦）は、部会員の折田長美さん（㊦）の元で2年間の研修を経て、小林市の農家として独立を目指します

自分たちの手でこの地域を守る 小林市消防団入退団式を開催

4月5日、野尻町農村環境改善センターで令和8年度小林市消防団入退団式が挙行されました。今年度は18人が退団し、新たに6人が入団。式では、新入団員を代表して第1分団第1部（小林中央）留野稜也さんが「住民の生命、身体および財産を保護し、郷土愛後の精神に基づき使命達成に努めます」と力強く宣誓しました。



地域の消防防災のリーダーとして、市民の安全安心を守るという重要な役割を担う消防団。今年度は484人の団員がさまざまな地域活動に取り組みます